

令和4年3月29日
京都工芸繊維大学

令和5年度（令和4年度実施）地域創生 Tech Programに係る募集人員等の変更、
及び学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program【地域】>の選抜方法等の変更について

本学では、平成28年度よりグローバルな視野を持って工学・科学技術により地域の課題を解決できる国際高度専門技術者を育成するため、「地域創生 Tech Program」を学部共通プログラムとして開設し、京都府北部をフィールドとして地域課題をテーマとした学習（地域課題PBL）やインターンシップによる多様な実践的体験を積み、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を行ってきました。

これまでに本教育プログラムを修了し就職した12名のうち、4名が京都府北部を主な事業拠点として活動している企業に就職するなど、徐々にではありますが、本プログラムの成果が見えつつある状況です。

この度、本教育プログラムにおける地域課題PBLやインターンシップなどをより効果的に機能させるため、令和4年度に実施する令和5年度入試から本教育プログラムの募集人員を別紙1のとおり変更しますので、お知らせいたします。あわせて、学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program【地域】>の選抜方法等について、別紙2のとおり変更しますのでお知らせいたします。なお、ダビンチ入試（総合型選抜）の選抜方法等については変更の予定はありません。選抜方法等の詳細については、令和4年6月公表予定の学生募集要項にてご確認ください。

本件担当
入試課学部入試係
電話：075-724-7164
メール：nyushi[a]kit.ac.jp
(※[a]を@に変換してください。)

地域創生 Tech Program に係る募集人員の変更について

令和 3 年 4 月 8 日付で公表した令和 5 年度入試（令和 4 年度実施）に係る工芸科学部 1 年次生の学生募集人員を以下のとおり変更します。

1. 地域創生 Tech Program に係る募集人員について

<変更前>

課 程	募 集 人 員	一般 選 抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推 薦 型 選 抜
		前 期 日 程	一般	地 域	社 会 人	
		一 般				地 域
応 用 生 物 学 課 程	2	若干名	1		若干名	1
応 用 化 学 課 程	10	若干名	5	2	若干名	3
電 子 シ ス テ ム 工 学 課 程	3	若干名	1	1	若干名	1
情 報 工 学 課 程	3	若干名	1	1	若干名	1
機 械 工 学 課 程	4	若干名	1	1	若干名	2
デ ザ イン ・ 建 築 学 課 程	8	若干名	4	2	若干名	2
計	30	—	合わせて 20		—	10



<変更後>

課 程	募 集 人 員	一般 選 抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推 薦 型 選 抜
		前 期 日 程	一般	地 域	社 会 人	
		一 般				地 域
応 用 生 物 学 課 程	2	若干名	1		若干名	1
応 用 化 学 課 程	<u>3</u>	若干名	<u>2</u>		若干名	<u>1</u>
電 子 シ ス テ ム 工 学 課 程	3	若干名	<u>2</u>		若干名	1
情 報 工 学 課 程	3	若干名	<u>2</u>		若干名	1
機 械 工 学 課 程	<u>3</u>	若干名	<u>2</u>		若干名	<u>1</u>
デ ザ イン ・ 建 築 学 課 程	8	若干名	4	2	若干名	2
計	<u>22</u>	—	合わせて <u>15</u>		—	<u>7</u>

※太字下線が変更箇所

※学部全体の募集人員及び募集人員の取扱いについては次頁 2 参照

(次頁に続く)

2. 工芸科学部 1 年次生に係る入試区分別の学生募集人員とその取扱いについて

上記 1 の変更に伴う工芸科学部全体の学生募集人員とその取扱いについては、次頁別表 1 のとおりとします。

令和5年度（令和4年度実施）工芸科学部1年次入試区分別の募集人員

令和3年4月8日付で公表した募集人員

課程	合計	一般プログラム							地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校推薦 型選抜	特別 入試 私費 外国人 留学生	小計	一般 選抜 前期 日程	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル	一般	一般		一般	一般	地域	社会人	地域
応用生物学課程	50	48	22	10	5	1	10	若干名	2	若干名	1		若干名	1
応用化学課程	169	159	88	24	6	3	38	若干名	10	若干名	5	2	若干名	3
電子システム工学課程	61	58	34	10	3	1	10	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
情報工学課程	61	58	30	15	5	1	7	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
機械工学課程	86	82	47	15	4	1	15	若干名	4	若干名	1	1	若干名	2
デザイン・建築学課程	156	148	105	—	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	553	326	74	53	10	90	—	30	—	合わせて20		—	10



変更後の募集人員

応用生物学課程	50	48	22	10	5	1	10	若干名	2	若干名	1		若干名	1
応用化学課程	169	<u>166</u>	<u>95</u>	24	6	3	38	若干名	<u>3</u>	若干名	<u>2</u>		若干名	<u>1</u>
電子システム工学課程	61	58	34	10	3	1	10	若干名	3	若干名	<u>2</u>		若干名	1
情報工学課程	61	58	30	15	5	1	7	若干名	3	若干名	<u>2</u>		若干名	1
機械工学課程	86	<u>83</u>	<u>48</u>	15	4	1	15	若干名	<u>3</u>	若干名	<u>2</u>		若干名	<u>1</u>
デザイン・建築学課程	156	148	105	—	30	3	10	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	<u>561</u>	<u>334</u>	74	53	10	90	—	<u>22</u>	—	合わせて <u>15</u>		—	<u>7</u>

※太字下線部が今回の変更箇所

注1. 一般選抜前期日程では、一般プログラムと地域創生Tech Programとの併願ができます。

注2. 募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

- ①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。
- ②私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、一般選抜後期日程の募集人員に含まれます（デザイン・建築学課程を除く）。
- ③地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生Tech Programの各課程の募集人員に含まれます。
- ④地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ⑤地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生Tech Programの一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ⑥地域創生Tech Programの入学手続者数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注3. ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

注4. 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program【地域】>の選抜方法等の変更について

学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program【地域】>に係る、出願資格、出願時期、選抜方法を次のとおり変更します。

1. 出願資格等について

下記のとおり変更し、出願できる対象地域を拡大するとともに、調査書における「全体の学習成績の状況」による制限を設けないこととします。

<変更前>

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和5年3月31日までに卒業見込みの人 (2) 学校長が、学校推薦型選抜のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人 (3) 合格した場合は、必ず入学することを確約できる人 (4) 令和5年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人 (5) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の人 |
|--|



<変更後>

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月31日までに卒業見込みの人、又は京都府内に在住し、令和5年3月31日までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの人</u> (2) 学校長が、学校推薦型選抜のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人 (3) 合格した場合は、必ず入学することを確約できる人 (4) 令和5年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人 (5) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の人 |
|---|

※ (5) については、削除

また、電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程については数学Ⅲの履修を必須要件とします。なお、応用化学課程、デザイン・建築学課程については、数学Ⅲの履修が望ましい、応用生物学課程については数学Ⅲの履修を特には求めないこととするこれまでの取扱いに変更はありません。

(次頁に続く)

2. 実施時期について

出願期間：大学入学共通テスト実施後の令和5年1月中旬から1月下旬

合格発表：令和5年2月8日（予定）

入学手続：令和5年2月15日まで（予定）

3. 選抜方法について

「大学入学共通テストと本学で行う面接及び提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行う」方法から、「大学入学共通テスト及び提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行う」方法に変更します。つまり、地域貢献意欲等の評価は志望理由書、推薦書、調査書等提出書類において評価し、面接は実施しません。なお、大学入学共通テストにおいて課す科目については次頁別表2のとおりで、令和3年度に実施した令和4年度入試からの変更はありません。配点については、別表3のとおりです。また、志望理由書等の様式については、変更の予定はありません。学生募集要項掲載時に合わせて公表します。

4. その他

入試区分の名称を、「学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program>」とします。

以上

令和 5 年度学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program>実施教科・科目等

学域、課程名		大学入学共通テストの利用教科・科目		
応用生物学域	応用生物学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)
物質・材料科学域	応用化学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)
設計工学域	電子システム工学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)
	情報工学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)
	機械工学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国 地 数 理 外 国	語 民 学 科 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5 教科 7 科目)

注意事項

○英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

(次頁に続く)

○大学入学共通テストについて

1. 段階表示について

出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。

2. 外国語について

英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりません。その場合、リスニングテストの点数を0点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、各課程の配点に換算します。

3. 地理歴史・公民について

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。

令和 5 年度学校推薦型選抜<地域創生 Tech Program>教科・科目等別配点

課程名	配点							
	大学入学共通テスト						出願書類	合計
	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小計		
応用生物学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	200	1,100
応用化学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	200	1,100
電子システム工学課程	100	50	2科目 各100	2科目 物理150 その他100	200	800	200	1,000
情報工学課程	100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	750	200	950
機械工学課程	100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	750	200	950
デザイン・建築学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	200	1,100